

(別紙)

刑法 (10月15日実施)

1. 対象の学部

法曹実務研究科

2. 入試方法区分、試験科目

令和5年度入学者選抜B日程 法律専門試験(刑法)(10月15日実施)

3. ミスの内容

事例の文中に、「甲は、」と記載すべきところ、「Aは、」と記載されていた。

※ 甲の罪責を問う問題であり、事例文中の四角で示した箇所において主語を甲とすべきところ、「Aは、」と記載されていた。

第2問(刑法)

次の事例における甲の罪責について、具体的な事実を摘示しながら、説明しなさい(但し、刑法典上の罪に限り、特別法違反の罪は除く。)

甲は窃盗の目的でA方に侵入し、リビングや寝室の戸棚をあさり、現金や貴金属を上着のポケットに入れるなどして窃取し、玄関を出て逃走し、A方から徒歩3分の自宅に戻った。しかし、窃盗を終えてA方を立ち去る際、A方の庭にAの祖母であるB(90歳)がいたのを見つけた。Bはぼんやりと庭にたたずんでいたのがあったが、Aは、Bに自己の窃盗を見られたのではないかと思い、10分ほど逡巡した後、Bを殺害するほかないと決意し、再びA方に戻り、A方の8畳間にいたBに馬乗りになって首を絞めて殺害した。なお、Bは甲が窃盗をしたことを認識しておらず、警察に通報してそれを受けた警察が出動したという事実はなかった。

4. 対応

採点時に答案を確認したところ、解答に差支えはなかったので特段の対応はしない。

5. 追加合格の有無

無し